



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 佐渡汽船株式会社

コード番号 9176 URL <http://www.sadokisen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小川 健

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 尾崎 弘明

TEL 025-245-2311

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	8,949	△2.7	267	174.8	177	672.0	846	—
26年12月期第3四半期	9,195	△1.5	97	△62.2	22	△89.5	△217	—

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 868百万円 (—%) 26年12月期第3四半期 △221百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	59.82	58.78
26年12月期第3四半期	△15.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	17,316	3,467	17.4
26年12月期	16,341	2,599	13.2

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 3,009百万円 26年12月期 2,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成27年12月期の配当につきましては、現段階では未定とさせていただきます。

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,802	△1.6	266	—	132	—	774	—	54.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年12月期3Q	14,275,450 株	26年12月期	14,275,450 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

27年12月期3Q	124,537 株	26年12月期	124,537 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期3Q	14,150,913 株	26年12月期3Q	14,142,463 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策等により、一部には企業収益や雇用の改善、設備投資の持ち直し等が継続するなど、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、個人消費の弱さや海外経済の減速が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いています。

旅客船業界においては、これまで高止まりを続けていた燃料油価格が値下がりに転じてきてはいるものの、原油価格は中東情勢などの地政学リスクの影響を受けやすいこと、人手不足による労働コストの上昇、また、離島航路においては少子高齢化による人口減少・過疎化、産業・経済の低迷なども見受けられ、依然として不安要素は払拭できない状況が続きました。

当社グループにおきましては、4月21日に新造高速カーフェリー「あかね」が直江津・小木間に就航したことによる同航路の旅客輸送人員の増加、9月にシルバーウィークがあったこと及び各種割引施策による乗用車航送の増加など、一定のプラス要因も見られました。

これに対し、直江津・小木間に新造船が就航したことの反動で新潟・両津間及び寺泊・赤泊間の輸送人員は減少しており、また、佐渡島内の人口減少に伴う生活物資輸送や公共工事の減少等で貨物輸送及びトラック航送は減少するなど、マイナス要因も発生しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,949,433千円（前年同期比2.7%減）、営業利益は267,708千円（前年同期比174.8%増）、経常利益は177,294千円（前年同期比672.0%増）、四半期純利益は846,484千円（前年同期は217,672千円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。なお、当社グループの売上高は事業の性質上、第3四半期に著しく増加する傾向にあり、季節的変動が顕著であります。

①海運

当第3四半期連結累計期間の旅客輸送人員は1,230,372人（前年同期比2.4%減）、自動車航送台数は乗用車換算で163,858台（前年同期比4.7%減）、貨物輸送トン数は117,704トン（前年同期比10.0%減）となりました。

旅客輸送人員は、直江津航路に4月に就航した新造高速カーフェリー「あかね」効果や9月のシルバーウィークによって成果は見られましたが、その反動で新潟、寺泊の両航路の落ち込みが大きく、累計では前年同期の売上高を下回りました。

航送・貨物輸送実績は、各種割引施策の実施による乗用車航送には一定の効果が見られましたが、佐渡島内の人口減少及び公共工事減少に伴う生活物資・資材等の減少により貨物輸送及びトラック航送が減少したため、前年同期の売上高を下回りました。

費用面におきましては、船舶燃料費が前年同期を下回りました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は6,000,575千円（前年同期比3.0%減）、セグメント利益（営業利益）は192,822千円（前年同期比528.0%増）となりました。

②一般貨物自動車運送

前年同期と比較して、公共工事の減少等により売上高は減少しましたが、費用面で燃料費の減少等があり、セグメント損失（営業損失）は減少しました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は1,178,341千円（前年同期比9.1%減）、セグメント損失（営業損失）は19,898千円（前年同期は23,656千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

③売店・飲食

当第3四半期連結累計期間の売上高は962,929千円（前年同期比3.0%減）、セグメント利益（営業利益）は13,322千円（前年同期比29.0%減）となりました。

④観光

当第3四半期連結累計期間の売上高は658,763千円（前年同期比17.5%増）、セグメント利益（営業利益）は29,992千円（前年同期比9.5%減）となりました。

⑤その他

当第3四半期連結累計期間の売上高は148,825千円（前年同期比7.2%減）、セグメント利益（営業利益）は22,961千円（前年同期比261.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ974,662千円増加し17,316,334千円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ558,892千円増加し4,339,122千円となりました。これは、その他が443,487千円増加したことが主な要因であります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ408,030千円増加し12,934,425千円となりました。これは、建設仮勘定が4,664,427千円減少したこと、船舶（純額）勘定が4,835,555千円、その他（純額）勘定が191,990千円それぞれ増加したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ106,145千円増加し13,848,375千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ43,031千円減少し3,992,491千円となりました。これは、短期借入金が268,196千円、1年内返済予定の長期借入金が140,521千円それぞれ増加したものの、前受補助金が477,848千円減少したことが主な要因であります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ149,176千円増加し9,855,884千円となりました。これは長期借入金が283,808千円減少したものの、社債が304,920千円、その他が130,249千円それぞれ増加したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ868,517千円増加し3,467,959千円となりました。これは、846,484千円の四半期純利益を計上したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成27年5月11日に公表いたしました業績予想（連結・個別）を、平成27年11月9日に修正しております。

修正理由等につきましては、平成27年11月9日付「平成27年12月期通期（連結・個別）の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,978,363	2,058,150
受取手形及び売掛金	832,242	906,408
たな卸資産	689,452	749,389
繰延税金資産	117,166	22,271
その他	171,740	615,227
貸倒引当金	△8,733	△12,323
流動資産合計	3,780,230	4,339,122
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	1,211,322	6,046,877
建物(純額)	3,191,811	3,207,963
土地	1,904,770	1,904,770
建設仮勘定	4,695,193	30,766
その他(純額)	740,287	932,277
有形固定資産合計	11,743,384	12,122,653
無形固定資産		
のれん	4,756	4,381
その他	244,955	248,114
無形固定資産合計	249,711	252,495
投資その他の資産		
投資有価証券	166,832	170,398
長期前払費用	263,101	286,233
繰延税金資産	37,709	37,848
その他	65,658	64,798
投資その他の資産合計	533,300	559,277
固定資産合計	12,526,395	12,934,425
繰延資産		
社債発行費	35,047	42,787
繰延資産合計	35,047	42,787
資産合計	16,341,672	17,316,334

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	412,936	385,329
短期借入金	393,804	662,000
1年内償還予定の社債	259,560	363,240
1年内返済予定の長期借入金	1,582,772	1,723,293
未払法人税等	41,631	119,324
賞与引当金	30,618	146,817
前受補助金	477,848	—
その他	836,353	592,488
流動負債合計	4,035,522	3,992,491
固定負債		
社債	1,562,660	1,867,580
長期借入金	7,062,608	6,778,800
役員退職慰労引当金	55,297	58,393
退職給付に係る負債	728,020	759,232
特別修繕引当金	161,720	124,833
資産除去債務	27,900	28,294
その他	108,503	238,752
固定負債合計	9,706,708	9,855,884
負債合計	13,742,230	13,848,375
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,135	843,135
資本剰余金	681,020	681,020
利益剰余金	691,051	1,534,202
自己株式	△68,002	△68,002
株主資本合計	2,147,204	2,990,355
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,784	21,054
退職給付に係る調整累計額	△8,776	△2,193
その他の包括利益累計額合計	10,008	18,861
新株予約権	55,234	62,452
少数株主持分	386,996	396,291
純資産合計	2,599,442	3,467,959
負債純資産合計	16,341,672	17,316,334

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	9,195,932	8,949,433
売上原価	8,395,524	7,914,162
売上総利益	800,408	1,035,271
販売費及び一般管理費	703,004	767,563
営業利益	97,404	267,708
営業外収益		
固定資産賃貸料	50,515	57,788
受取利息	375	415
受取配当金	4,438	3,996
その他	53,265	42,664
営業外収益合計	108,593	104,863
営業外費用		
支払利息	96,340	131,471
固定資産賃貸費用	19,876	31,622
シンジケートローン手数料	45,053	1,507
その他	21,763	30,677
営業外費用合計	183,032	195,277
経常利益	22,965	177,294
特別利益		
固定資産売却益	4,833	913,759
特別修繕引当金戻入額	—	36,075
特別利益合計	4,833	949,834
特別損失		
固定資産売却損	2,315	661
固定資産除却損	4,868	25,824
減損損失	110,666	—
和解金	—	30,100
特別損失合計	117,849	56,585
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△90,051	1,070,543
法人税、住民税及び事業税	78,242	130,038
法人税等調整額	50,145	83,621
法人税等合計	128,387	213,659
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△218,438	856,884
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△766	10,400
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△217,672	846,484

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△218,438	856,884
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,316	2,302
退職給付に係る調整額	—	8,823
その他の包括利益合計	△3,316	11,125
四半期包括利益	△221,754	868,009
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△220,212	855,337
少数株主に係る四半期包括利益	△1,542	12,672

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,185,740	1,296,138	993,209	560,429	9,035,516	160,416	9,195,932
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	247,116	35,922	309,377	592,429	156,546	748,975
計	6,185,754	1,543,254	1,029,131	869,806	9,627,945	316,962	9,944,907
セグメント利益又は損失 (△)	30,704	△23,656	18,753	33,155	58,956	6,353	65,309

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	58,956
「その他」の区分の利益	6,353
セグメント間取引消去	32,095
四半期連結損益計算書の営業利益	97,404

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「観光」セグメントにおいて、事業用資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては110,666千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,000,575	1,178,341	962,929	658,763	8,800,608	148,825	8,949,433
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,415	241,329	21,974	304,474	580,192	168,329	748,521
計	6,012,990	1,419,670	984,903	963,237	9,380,800	317,154	9,697,954
セグメント利益又は損失 (△)	192,822	△19,898	13,322	29,992	216,238	22,961	239,199

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	216,238
「その他」の区分の利益	22,961
セグメント間取引消去	28,509
四半期連結損益計算書の営業利益	267,708

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。